

小倉山通信

平成27年4月9日
No.01

はじめまして 平成27年度 始動

角館中学校の校長 佐藤心一です。平成18年に、本校の教頭を最後に、8年ぶりに母校に戻って参りました。よろしくお願いいたします。

角館中学校では、学校通信を週に一回程度発行します。執筆は、校長が担当しております。

学校通信の表題である「小倉山通信」は、校舎の向かい側の山が「小倉山」ということにちなみました。また、学校通信の内容は、インターネットの本校のホームページ(http://www.city.semboku.akita.jp/sc_kakuchu/)にも掲載する予定です。記載されている内容についてのお問い合わせは、校長までいただければ幸いです。ブログ(<http://19850424.at.webry.info/>)の内容と重なる場合もございますのでご了承ください。

一年間よろしくお願いいたします。

新任式 14名の先生方が赴任

教職員定期人事異動で、今年、14名の職員が本校に赴任しました。(1名は赴任しましたが、潟上市の秋田県総合教育センター研修員です。)

歓迎の言葉を生徒代表 米澤悠介さん(3年)からいただきました。

歓迎の言葉 3年 米澤悠介さん

4月に入り、春の温かな陽ざしが新しい角館中学校のスタートを出迎えているようです。

先生方、ようこそ角館中学校へおこしくございました。つい先日17名の先生方とお別れし、さみしい気持ちでいた私たちでしたが、今日14名の先生方をお迎えすることができ、うれしい気持ちでいっぱいです。先生方、角館中学校の印象はいかがでしょう。

ここで角館中学校の特徴についていくつか紹介したいと思います。

正門から校舎へ向かう道は、通称「すすかけ通り」と言い、両脇にある「すすかけの樹」は角中のシンボルです。学校祭の名前も「すすかけ祭」と言います。毎年、角中生一人一人が自分の役割を一生懸命果たし、「来てくださった方々を笑顔にすること」を目標としてがんばっています。

日本を代表する詩人三好達治先生が作詞してくださった校歌は、角館中学校の誇りです。昨年度は「校歌をしっかりと歌おう集会」を行い、美しいハーモニーを目指しました。その校歌を先生方と歌っていきたいと思います。

「さわやかな若者」を目指し、校舎の汚れを足の裏で感じながらすみずみまできれいにする「裸足の清掃」、学習委員会による「ラ

ブリーチェック」、生活公安委員会による「服装チェック」など、生徒会で取り組んできました。

昨年は30周年という節目の年でした。一区切りがついたように思っています。今年は31年目ということでフレッシュな気持ちで臨む一年です。角中に新たな歴史を築きたいと、みんな張り切っています。

新任の先生方、私たちを教え、支え、導いてくださるよう、よろしくお願いいたします。よろこそ、角館中学校へ。

これからよろしくお願いいたします。

この後、始業式があり、三沼蓮さん(3年生)から誓いの言葉がありました。

誓いの言葉 3年 三沼蓮 さん

冬の冷たい風も弱まり、春の暖かい風がすずかけ通りに吹き、新年度を迎える私たちの背中をおしてくれている気がします。

皆さんも、春の訪れと共に、新たな決意をもって新学期に臨んでいることでしょう。

特に、三年生は、最上級生であり、受検生であり、そのゴールには卒業生となります。

色々な面でプレッシャーを感じることも多くなる中、私たち三年生はその壁を乗り越えなくてはなりません。この一年は、今までと違い、大切な一年です。私は、その壁を乗り越えるために次のような意識をもって生活します。

受検生といえば、勉強です。その勉強で成果を上げるために「無駄な時間を作らず勉強する」という目標を立てて勉強に取り組みます。時間は一日二十四時間と決まっています。

どんどん生まれてくるものではありません。だからこそ、ゲームなどで時間を浪費せず、学習の一日のノルマをしっかりと決めて、それが達成できるように、けじめをつけて取り組みます。

部活動で私は、男子ソフトテニス部に所属しています。新人戦で団体での全県大会出場ができなかった悔し気持ちと、落ち込んだ時、共に助けあった仲間へ恩返ししたいという気持ちを胸に刻み、一日一日一球一球を大切に練習に励みたいです。そして、郡総体では、三年間の思いをボールに込めて、悔いのないプレーをし、団体で全県大会に出場したいです。

以上が私の決意です。

青嶺学年のみなさん。最高学年になり、私たちが学校生活や部活動などの面で、道しるべとなり、後輩を引っ張っていく立場になります。常に後輩の手本であり、リードしていく立場であることを自覚し、生活しましょう。

また、青嶺学年は受検生です。「自分の進路は自分で決める」という強い気持ちをもって学習に取り組みましょう。時には、辛く、苦しい時もあるでしょう。そんな時、お互いに励まし合い、みんなで支え合いながら目標を達成する学年を目指しましょう。

二年生になる紅駿学年のみなさん。

新しいクラスとクラスメート。そして、一年生も入学してきます。新しい環境での生活がスタートします。二年生として学校を支え、学年としても成長していけるように、日々の生活を大切に送りましょう。また、一年生と接する機会が多いと思います。自分達がどのように先輩にリードしてもらったか、どのようなことを学んだかを思い出し、時には優しく、時には厳しく色々なことを教えてあげましょう。そして、私たち三年生と協力し、よりよい角館中学校を創っていきましょう。

心に決めたそれぞれの目標、夢の実現、そして平成二十七年度の角館中学校の歩みを一歩一歩着実に進めることを約束し、誓いの言葉とします。

本年度の職員を紹介します。

★ 職員紹介 ()は前所属 < >は校務分掌	
校長	佐藤心一(西仙北中)
教頭	三浦政喜(仙北市教育委員会)
主査	藤川いづみ
養護教諭	古村香
栄養教諭	田村香寿恵(桜木内小)
教員	畠山仁<教務主任>
教員	井合和人(美郷中)<生徒指導主事>
教員	佐々木充<生徒指導専任>
教員	山崎久美子(大曲中)<通級指導>
教員	長澤真由美<けやき主任A組>
教員	藤原恭子(桜木内中)<けやきB組>
教員	照井節子<1年主任>
教員	福田裕司(大曲中)<1年副主任A組>
教員	佐藤美香<1年B組>
教員	山口晃正<1年C組>
教員	武藤美靖<1年副担任>
教員	鈴木茂樹<2年主任>
教員	広瀬文夫(生保内中)<2年副主任>
教員	赤上秀人<2年A組>
教員	高橋里子(美郷中)<2年B組>
教員	高橋智央(美郷中)<2年C組>
教員	山崎洋<2年D組>
教員	奈良淳一<3年主任>
教員	大河見一(大曲西中)<3年副主任, 研究主任>
教員	藤倉修<3年A組>
教員	出町吉弘<3年B組>
教員	佐々木克実(生保内中)<3年C組>
教員	赤川嗣昭<3年D組>
教員	真崎由紀子<3年副担任>
特別教育支援員	熊谷智香子(1年部)
特別教育支援員	田村雄幸(2年部)
特別教育支援員	丹野雪子(3年部)
事務補助	古郡未奈美(JAおばこ)
A L T	Joseph Griggs「ジョーイ」

技術員 伊藤孝良
校務員 佐々木健太
校務員 藤田富美子
スクールカウンセラー 石山宏央

★部活動担当 (監督・コーチ, ()が部長, 世:世話人)

- ・野球 井合和人(山口晃正)
- ・ソフトテニス男 赤川嗣昭(鈴木茂樹)
- ・ソフトテニス女 鈴木茂樹(赤川嗣昭)
- ・卓球男 福田裕司(赤上秀人)
- ・卓球女 佐々木克実(赤上秀人)
- ・サッカー 山崎洋(佐々木充)
- ・柔道 広瀬文夫(出町吉弘)
- ・剣道 出町吉弘(広瀬文夫)
- ・バスケットボール男 藤倉修(大河見一)
- ・バスケットボール女 高橋智央(大河見一)
- ・バレーボール 畠山仁, (高橋里子)
- ・オーケストラ 奈良淳一(山崎久美子)
- ・美術 長澤真由美(佐藤美香)
- ・生活福祉 照井節子(藤原恭子)
- ・科学 藤原恭子(照井節子)
- ・英会話 佐藤美香(長澤真由美)
- ・陸上・駅伝 山口晃正, 他全職員

◇スポーツ少年団

- ・スキー水泳, 世:赤上秀人
- ・バドミントン 世:佐藤美香

ハツラツ90名 入学しました

4月7日(火)、90名の新入生がハツラツとして入学しました。式では、生徒会長の仲野谷美晴さんが、昨年までの自分たちの活動を紹介し、「元気な挨拶を交わし、心、体、頭を鍛え、共に『学び合い、高め合う角中生』を目指していきましょ



う。」と歓迎の言葉を述べました。それに対して新入生の高橋匠一さん(中川小出身)が、中学校生活への期待と頑張

りたいことについて触れ、最後に「途中、苦しいこともあるかもしれませんが、しかし、困難に負けず、仲間と協力しながら前に進んでいくことを、新入生を代表してここに誓います。」と誓いの言葉を述べてくれました。どちらの代表も原稿をほとんど見ないでのスピーチで、これからの生活への意気込みを感じました。

